

## 令和 4 年度当初予算（案）と新水道ビジョン「計画値」との比較

令和 4 年度当初予算（案）と見直しを行った投資・財政計画の令和 4 年度の計画値との比較表は裏面のとおりです。

給水収益（水道料金）を令和 3 年度の収入見込みを基に積算しなおした金額で計上した点やいざという時のために浄水場や配水場の緊急修繕（工事）費、予備費を計上した点などに違いはありますが、概ね計画どおりの予算案となりました。

新水道ビジョンに掲げる基本方針の達成度は次のとおりで、いずれの項目の目標も達成する予算案となっています。

### 1. 損益黒字の確保

（損益黒字を確保します）

令和 4 年度は、**1 億 9, 7 6 6 万 2 千円** の純利益を見込んでいます。

入間市新水道ビジョンにおける計画値 2 億 6 0 0 万円

### 2. 安定的な自己資金残高の確保

（日常の資金繰りと災害時に備えて内部留保資金を 1 5 億円以上確保します）

内部留保資金は、**約 1 8 億 3, 0 0 0 万円** の確保を見込んでいます。

入間市新水道ビジョンにおける計画値 1 8 億 3, 1 0 0 万円

### 3. 給水収益に対する企業債残高の割合を一定限度内に抑制

（令和 8 年度の「給水収益に対する企業債残高の割合」は 1 5 0 % 以下とします）

「給水収益に対する企業債残高の割合」は **1 2 8. 6 %** です。

入間市新水道ビジョンにおける計画値 1 3 2. 8 %

### 4. 適正な料金収入の確保

（「料金回収率」は 1 0 0 % 以上を維持します）

「料金回収率」は **1 0 5. 3 0 %** です。

入間市新水道ビジョンにおける計画値 1 0 2. 1 0 %